

海外指導 トルクメニスタン

平成 28 年 9 月 15 日～20 日



場所

トルクメニスタン
アシガバット

概要

在トルクメニスタン日本大使館からの依頼を受け、現地の 4 箇所の道場で指導。

2 つの大学で解説及びデモンストレーション、大使館主催のプログラムとして合気道の説明とデモンストレーションを行った。

関連リンク

在トルクメニスタン日本大使館
http://www.tm.emb-japan.go.jp/itpr_ja/00_000069.html

外務省

http://www.mofa.go.jp/mofaj/erp/ca_c/tm/page3_001436.html



9月15日

モスクワから空路トルクメニスタンへ。

空港では大使館職員・現地合気道道場代表者が出迎えに来てくれた。

CIP ルームという特別な部屋を使わせて頂き、ソファに座っているだけで入国審査が終わった。その後、ホテルへ移動。



(砂漠の上を飛んでいく…)



(最新の飛行機は後方1/3はガラガラ。今時国際線で珍しい…。)



(ホテルから見える夜景。全ての建物がライトアップされる。)

トルクメニスタン

中央アジア南西部に位置する共和制国家。

人口 520 万人。天然ガス埋蔵量は世界第 4 位。

カラクム砂漠が国土の 85% を占めており、国民のほとんどは南部の山沿いの都市に住んでいて、豊富な石油や天然ガスを埋蔵する。西側でカスピ海に面し、アフガニスタン、イラン、ウズベキスタン、カザフスタンと国境を接する。首都はアシガバートで、永世中立国である。20 世紀の末から 21 世紀にかけてソ連からの独立を果たした。

9月16日

午前中 1 箇所目の道場にて 1 時間半の指導。
昼食後、2 箇所目の道場にて 3 時間の指導。
その後、3 箇所目の道場にて 1 時間半の指導。
やはりアジアなので欧米とは違い、正座が苦ではありません。



(シャイで素直な子供達。どこと無く日本人に似ている。)



食事



ホテルの朝食。トマトやきゅうりなど新鮮な野菜が多い。



これも朝食。パンやスイカ、チーズが美味しい。グラスの中身は葡萄ジュース。



イスラム圏ですが、酒には寛容。スーパーで買ってきたビールをホテルで飲む。味は日本のビールと変わらない。

9月17日

オグズハン記念トルクメニスタン科学大学にてデモンストレーション。

その後移動して、工科大学にてデモンストレーション。

大使主催の昼食会に出席。夕刻より4箇所目の道場にて1時間半の指導。



(純情そうな?大学生たち)

大学生



大学生も制服着用。男子はネクタイに帽子。女子は三つ編み、帽子、裾の長い赤い服。ちなみに女性の制服は母親が作るとのこと。



学生生活は規則が厳しそう。男女の付き合い方も欧米とは違いますね。とはいえこちらには結婚も早いです。20歳前半には結婚して子供がいます。たまに子持ちの大学生もいるみたいです。



(質問コーナー。合気道は何歳からやってるの？今何歳ですか？結婚してますか？など可愛らしい質問が多数ありました。(笑))



(午後指導した道場)



(どこの子供も硬い子は硬い…。)

言語

トルクメニスタン語というのも勿論ありますが、一般の人はロシア語とトルクメニスタン語が混ざった言葉を話すそうです。雰囲気的にはトルクメニスタン語よりロシア語の方が得意のようです。

私のスピーチをどちらの言語で通訳するか相談しましたが「やっぱり公式の行事だから全部トルクメニスタン語だろう！」

「ええ～、全部トルクメニスタン語なんて話せるかしら～」みたいな事になってました。

言語に関しても、寛容なお国柄なのか。。

9月18日

トルクメニスタン映画館にて、デモンストレーション。
日本大使館主催の行事。
各国の大使館関係者や駐在している日本人が数名来場した。
中には学生時代合気道部だったというプラントメーカーのエンジニアの方も
いらっしゃいました。世間は狭いものですね。



特命全権大使の挨拶に続き、私も挨拶。



(観客は200~300人でしょうか)



(座り技、半身半立、短刀、太刀取り、杖取り、多人数がけを演武しました。)



(日の丸の前で演武するというのは気が引き締まりますね。) (お世話になった大使館関係者と記念撮影。)

詳しくは トルクメニスタン日本大使館の HP をご覧下さい。

http://www.tm.emb-japan.go.jp/itpr_ja/00_000069.html



演武参加者と記念撮影。



(写真撮影会の一部。何人も撮らせて欲しいとやってくる。この瞬間だけ自分がアイドルにでもなった気がする・・・。
でも希望者はほとんど逞しい男性・・・)

午後は国営の競馬場へ連れて行って頂きました。安倍総理も訪問した場所です。



(みんなで記念写真)



(道場長、私、馬省副大臣、競馬場管理人)



(馬に乗らせてもらった)

トルクメニスタン原産といわれる「アハルテケ」。非常に貴重な馬を管理・飼育している競馬場。
馬省という国の機関がある。わざわざ副大臣が今回の為に 来場してくれた。
大使館の方も何度も訪れたことがあるが、馬に乗せてもらうのは初めてとの事。



綺麗な馬ですねえ。



最終日の夕食は現地のレストランへ招待されました。一緒に行った大使館の方もレストランを見た瞬間、
「あっ、ここは地元の人が行く店だ。絶対旨いですよ！」との事。
ビール、魚の干物、羊肉、ウォッカ…。旨かった…。

9月19日

前日にオープンしたばかりの真新しい空港から出国。

モスクワ経由で成田に帰国。

大使館の皆様、現地「ラチンアイ」道場の皆様、有難うございました。



まとめ

そもそも今回のトルクメニスタン指導は、昨年10月に安倍首相が訪問し、両国の文化的交流の拡大を提案・合意したことからはじまり、本プログラムがその第1号となった。その後、柔道や空手等の日本武道交流が積極的に行われている。

空港での入国手続きからの移動、食事、ホテル、観光等全て大使館の方々にお世話になった。

改めて感謝の意を表したい。

現地では4箇所の道場で指導を行い、2大学でデモンストレーション、最後に日本大使館主宰の行事としてデモンストレーションを行った。

トルクメニスタンはビザの関係で、日本人が訪問することは極めて難しいとされている。そのため私が当地を訪問した最初の日本人合気道家となった。大変光栄な事であるが、最も大切な事は日本とトルクメニスタン両国の友好に少しでもお役に立てたかどうかということ。今回の訪問の答えはひとまず将来に残しておくとして、こういった草の根レベルの交流の積み重ねにより、両国の友好関係が更に深まることを期待したい。